

令和4年度 学校評価（教育課程特例校としての工夫を通して）

【評価】 A…よくあてはまる（8割以上） B…だいたいあてはまる（5～8割未満） C…あまりあてはまらない（2～5割未満） D…まったくあてはまらない（2割未満）

項目	内容	生徒・保護者への質問内容	生徒	保護者	教職員への質問内容	教師	内容総合	項目評価	外部評価	コメント
確かな学力の向上	1 授業の充実と改善	学校の授業内容を良く理解している。	B	B	授業で基礎・基本の確実な定着を図っているか。	B	B	B	B	<p>○ 「学力向上」については、保護者に対して積極的に公開していないと思う。したがって、向上しているかと判断できない。</p> <p>○ 生徒の学力の「格差」がみられるように感じる。基礎・基本の定着が望まれる。</p> <p>○ 学校として望むのは「上位者の成績」か「平均点の向上」か明確にしてほしい。</p>
		学力は向上している。	A	B	生徒の実態に応じた指導方法や評価の工夫・改善を行ったか。	B				
					言語活動の充実を図ったか。	B				
	2 学習訓練の徹底	家庭学習が定着している。	A	B	基本的な学習態度・学習習慣の指導は適切であったか。	B	B	B	B	
		分からない問題にも分かるまで粘り強く取り組んでいる。	B	B						
3 小中一貫教育による学習指導の充実				小中一貫教育に関する職員の意識は高まってきているか。	B	B	A	A		
4 総合的な学習の時間の工夫による「生きる力」の育成				えびの学は、計画的に実施されたか。	A	A				
5 進路指導の充実	将来の夢や目標を持っている。	B	B	学年に応じた適切な進路指導がなされたか。	B	B	B	B		
豊かな思いやりのある心の醸成	1 組織的機能を生かした生徒指導体制の充実	学校のきまりや社会のマナーを意識した行動ができています。	A	A	職員間の日常的な連携による生徒指導がなされているか。	A	A	B	B	<p>○ 「あいさつ」に関して学校全体としてレベルは下がっていない。「あいさつ運動」の場面ではあいさつをするが、日常生活になるとできていない。「あいさつ運動」であいさつをするということが目的になっていると感じている。</p> <p>○ 豊かな人間性を身に付けていく過程において、あいさつは必要不可欠と考える。本校において「いい子あいさつ運動」を通してあいさつに重点を置いて認識しているため、「2 あいさつ・ボランティアの実践」を「あいさつの実践」と「ボランティアの実践」に分けて適切な評価をしてはどうか。</p> <p>○ 本校の伝統である「いい子あいさつ運動」は、子どもたちのボランティア実践の醸成のみならず、保護者のPTA活動への参加の意味合いも含めて今後も恒久的に取り組んでほしい。</p>
	2 あいさつ・ボランティア実践	元気のよいあいさつができています。	B	B	生徒のボランティア精神は高まってきているか。	B	B			
	3 いじめ防止対策の推進				いじめを起こさない指導と、いじめの早期発見を心がけている。	A	A			
	4 合理的な配慮を踏まえた特別支援教育の充実				必要な生徒に適切に合理的な配慮を行っている。	B	B			
	5 学校生活環境の整備と充実	整理整頓がよくできている。	B	B	教室環境の整備はよくなされたか。	B	B			
	6 道徳・人権教育の充実				教科書を十分活用したか。	B	B			
				主題のねらいにふさわしい補助資料等が準備されたか。	B					
				授業は年間計画に従い、適切に進められたか。	A					
				道徳的心情、判断力、実践意欲と態度は育っているか。	B	B				
				人権教育は、十分に実践されたか。	A	A				
健康安全の確保と体力の向上	1 交通安全指導や安全点検の徹底				通学路の安全確認や登下校指導を行っている。	B	B	B	B	<p>○ 5項目については生徒・保護者・教職員の三者の協力により、ほぼ目標を達成している。</p> <p>○ 近年、「安心・安全メール」での不審者情報、サルの目撃情報、天候不順等による登下校時刻の変更等のお知らせが増加している。生徒たちが自ら身を守る意識の向上がこれまで以上に必要となってくる世の中となっているのではないかと。</p> <p>○ 「交通安全指導」や「安全点検」の徹底は、教職員評価がAになるように意識の向上をお願いしたい。</p>
	2 危機管理意識の高揚				非常変災を想定した防災訓練を行っている。	B	B			
	3 健康・安全教育の充実	睡眠時間を十分にとっている。	A	B	毎月の安全点検や、授業・部活動でけが予防を心がけている。	A	A			
		学校で示されたむし歯などの治療勧告はすべて完治した。	B	A						
	4 食育の推進	朝食をきちんと食べている。	A	A	給食指導は、適切に行われたか。	A	A			
	「子どもがつくる弁当の日」はお子さんに一品でも調理させている。	A	A							
5 教科・体育的行事・部活動を通しての体力向上	体力は向上している。	A	B	生徒の体力向上を図っている。	B	B				
	お子さんの部活動(社会体育を含む)は充実しており、満足している。	A	B							
	お子さんの競技力は向上している。	A	B							
家庭・地域との厚い信頼関係の構築	1 学校からの積極的な情報発信	学校からの文書をきちんと家で見せている。	A	B	通信等で家庭との連携を図っているか。	B	B	B	<p>○ 学校支援ボランティア人材の活用については、各分野において積極的に活用されていると思う。</p> <p>○ 学校も地域の団体等が行う行事に参加し、地域住民との交流を図ることによりいろいろな体験学習の機会を得て、自分たちの郷土を理解するきっかけにしてほしい。</p> <p>○ コロナ禍で多くの制限があった中、地域と連携しながら、少しでも多くの行事を実践していると思う。教職員の皆様ありがとうございます。</p> <p>○ 多くの子どもたちが自分のスマホを所持するようになり、インターネット、その他で得る情報を保護者が制限するのは限界がある。地域や社会全体で子どもたちが健全なスマホの使い方を学ぶ仕組みの構築が望まれる。</p>	
	2 家庭との連携による生活・学習習慣の徹底	家庭学習が定着している。	A	B	生活の記録や家庭学習の指導は、適切に行われたか。	B				
		家庭でインターネット、SNS、ゲームなどはお子さんとルールを決めている。	B	B	基本的な生活習慣の指導に力を入れたか。	A				
		家庭でインターネット、SNS、ゲームなどは寝る直前は使用していない。	B	B						
	3 地域人材・素材の有効活用による行事・授業の活性化				社会教育団体との連携	B				B
					学校支援ボランティアの発掘と活用	B				B
	4 魅力ある学校参観日の計画と運営									
	5 学校ホームページの内容充実									
	6 学校安心メールの登録推進と内容充実									
7 コンプライアンスの徹底										
8 「働き方改革」に関する学校独自の工夫と改善										
9 保護者や地域、関係諸機関に対する迅速かつ丁寧な対応				家庭、諸機関との連携は適切であったか。	B	B				